

# 市議会だより

昭和53年 4月15日 No.61

## 2月定例会

# 昭和53年度当初予算 4,923億円を可決



審査中の予算特別委員会第2分科会

### 『雇用対策等特別委員会』を設置

二月定例会は、二月二十八日から二十八日間の会期で開かれ、三月二十七日に閉会しました。

今議会に提出された議案は、市長提出の「昭和五十三年度北九州市当初予算」を中心とする七十二件と、議員提出の「雇用の確保や産業基盤の振興を図るための特別委員会設置案」など九件でした。いずれも慎重かつ熱心に審議された結果、市長提出議案七十二件は、原案のとおりすべて可決、議員提出議案は二件を否決して、特別委員会設置など七件を可決しました。

なお、今議会において、昨年十月に発足した課税問題等調査特別委員会の最終報告も行われました。

### 市長提出

## 可決した主なもの

万四千円を増額補正するもの

◎北九州市手数料条例の一部改正について  
住民票、戸籍の附票、租税その他の証明等の手数料を改正するもの  
七十円↓百円（二通、一件、又は一枚につき）

◎北九州都市圏広域行政推進協議会に関する協議について  
北九州都市圏域における広域行政の推進を図るために、北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町の二市四町が、広域行政計画の策定や、その計画について連絡調整を行う協議会を設置するもの

◎昭和五十二年度北九州市補正予算  
一般会計、普通特別会計、企業会計で、総額六十七億九千八百五十三円

◎昭和五十三年度北九州市当初予算  
一般会計 二千五百四十七億五千百万円  
普通特別会計（二十一会計） 千九百四十二億五百十五万円  
企業会計（四会計） 四百三十三億六千三百八十七万円  
合計 四十九億二千三百三十二万円

### 議員提出

◎八幡西区の警察署の新設に関する意見書

◎個人拠出の政治資金に対する税制上の特別措置に関する意見書  
政治活動に関する個人献金の税制上の特別措置の範囲を現在の都道府県段階から指定都市にまで拡大するよう要請するもの

◎地方財源拡充に関する意見書

◎地方公営交通事業の健全化に関する意見書

◎雇用の確保及び安定並びに産業基盤の振興について  
雇用の確保及び安定並びに産業基盤の振興を図るために、雇用対策等特別委員会を設置し、調査研究を行うもの

◎日中平和友好条約即時締結を要する意見書

### 求する意見書

◎公害健康被害補償制度に係る費用負担の適正化に関する意見書

### 雇用対策等特別委員会メンバー

- 山家 節夫（自民党）
- ◎ 浜田 順治（自民党）
- 芳野 直行（自民党）
- 中野 利幸（民社党）
- 大坪 郁夫（民社党）
- ◎ 中村 昌雄（公明党）
- 永田 秀雄（公明党）
- 坂田 隆（共産党）
- 牧 一生（共産党）
- 田中 覚（社会党）
- 古賀 清治（社会党）
- 和田 利治（新社会党）
- 山中 三敏（市民クラブ）
- ◎ 委員長 ○ 副委員長



# 質疑応答

## 財政問題で議論集中

### 予算執行に万全を

**議員** 五十三年度は、公共事業の拡大によって内需を喚起しようという国の方針に呼応して、予算総額四千九百二十三億円、対前年度比一九・二％の伸び率という公共事業の拡大を重点とした大型予算が編成されています。

しかしながら、予算の効果的な使い方がなされないと、景気の浮揚という目的は達せられないと思えますが市の体制は十分ですか。

また、執行にあたっての市長の考えを伺います。

**市長** 予算の編成にあたっては、市の事務事業執行能力を十分考慮に入れて編成しました。

また、公共事業の執行にあたっては、公共事業等推進対策本部を設置し、予算の消化の推進に万全を期しております。

対策本部を主体として、この予算が十分に景気刺激の役割りを果たすよう、特段の配慮をし、努力をしております。

三月七日から五日間本会議で十九人の議員が議案に対する質疑を行いました。その中から主なものを取り上げました。

### 財政見通しは

**議員** オイルショック後の経済変動の中で、国も地方も借金財政という事態が続いています。

本市も財源不足を補うため、市の借金である市債の借入れ額が年々増加し、借入れ残高も多額となっています。

こうした傾向は、将来の財政運営をみると、非常に憂慮されます。長期的な財政見通しについてどのように考えていますか。

**市長** 市債の借入れが増加し、この元利償還が将来大きな財政負担となりはしないかという心配ですが、本市においては、市債の借入れが行き過ぎたものを調べる尺度としての公債費比率は、危険な財政状態とされている二〇％の半分以下の九・八％でありますので、今のところ心配はありません。

しかし、今後も常に公債費比率をみながら、慎重に財政運営にあたりたいと思います。

## 下請代金を早く

**議員** 本市発注の公共事業における工事代金の支払は、発注の時点で三〇％その後は工事の進行にあわせて段階的に支払われています。しかし、元請業者から下請や孫請業者へは三か月から九か月の長期手形で支払われていると聞いています。

建設業法では、請負代金の支払を受けた元請業者は、一か月以内のできる限り早い時期に下請業者への支払を行うよう義務づけられています。

しかし、現実にはこの法律は空文化されているようです。地元中小企業育成のためにも行政指導が必要です。今後どのように指導していくのですか。

**市長** 元請業者が市から工事代

## 判決後の方針は

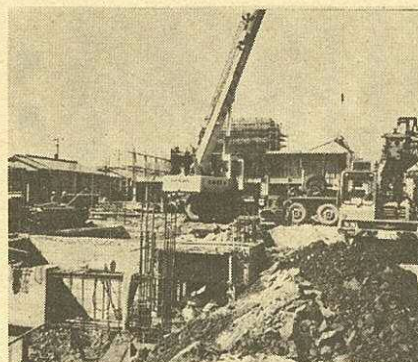
**議員** 去る三月十日、カネミ油症事件全国統一訴訟の判決がありました。

判決では、国と市の行政上の法的責任は問われないこととなりましたが、この判決に対する市長の所信と今後の方針についてお尋ねします。

**市長** 患者の方々長い間ご苦労が多かったことと思います。判決については、これまで市が主張してきた正当性が認められたものであると思います。

今後の方針としては、何よりも治療方法の探究が第一の課題だと考えますので、県と協力して治療

金の支払を受けたときは下請業者に対しても代金を適正に支払うよう、口頭又は文書でいままでも指導してきました。新年度には抜き取り調査を行い法に違反している悪質業者に対しては指名停止などの制裁を考えています。



## カネミ油症

方法の解明に努力してまいります。

また、食品衛生の監視体制についても、この事件を契機として強化していますが、今後とも常に最善の努力を傾けていく考えです。

## 新空港建設

**議員** このたび知事を会長とする新北九州空港建設促進期成会を設立して、運輸省など関係方面に本格的運動を展開することになったのは、本市発展のために喜ばしいことでもあります。

新空港の性格、規模また実現の

## 米の生産調整

### 厳しい転作

**議員** 本市でも昨年度の二倍強にも及ぶ面積を目標とし、米の生産調整が行われようとしています。

この転作計画に、市はどのように取り組んでいく考えですか。

また、転作推進のために農協が休耕田を管理するという新たな方法がとられますが、これに対する市の助成はどうなっていますか。

**市長** 非常に大きな転作目標面積の配分ですので、いろいろ困難な問題が生じています。

しかし、農家の理解と協力をできる限り得て円満に転作が進められるよう市も努力します。

なお、五十三年度予算においても農地の整備や補助金など合わせて一億円を超す転作推進費を計上しています。

農協が管理する休耕田については、十アールあたり県が四千元、市が二千元を補助することになっています。しかし、まだ不十分だとの声もありますので今後ともよく話し合っていきたいと思えます。

見通しはどうなっていますか。

**市長** 現在まで国からは具体的な回答はありませんが、今の空港と同じ第二種空港で滑走路は二千五百メートルが一本になると思います。

早急に国の空港整備計画に組み入れてもらうように、県や地元とともに積極的に働きかけていきたいと考えています。

# 今後の取り組み

## — 同和对策 —

**議員** 同和对策事業特別措置法が施行されて以来、十年経ちました。市は、今後どのように部落解放の施策を行うのですか。

**市長** 従来、同和行政は、ともすれば慈善的、慈悲的に予算を消化すること、又は、対象地区住民の大衆的運動に刺激されて行方融和手段として認識されがちであり、これが誤りであることは同和对策審議会答申にも指摘されているとおりであります。

市はこの精神を踏まえて積極的に実施してきました。

# 青少年非行防止

**議員** 本市における青少年の非行発件数は、非常に高い数値を示しており、気がかりなことです。

この不名誉な状態を解消するため市では、民生局、教育委員会又は青少年問題協議会など、それぞれの分野で青少年対策に努力されていますが、必ずしも相互間に十分な連携がとれていません。

したがって、市長の直轄で、総務局、民生局、教育委員会、警察、児童心理学者などで構成するプロジェクトチームを編成して、青少年の非行問題を徹底的に解決していく考えはありませんか。

**市長** 市長直轄のプロジェクトチームというものは、非常に強力な感じを与えるかも知れませんが、市長は非常に広範な行政事務を行わなければならない立場にあ

が延長された暁には、さらに決意を新たにして取り組みたいと考えています。

**教育長** 同和問題を完全に解決するために、教育が果たす役割は非常に重要だと考えます。しかし残念ながら、まだ、市民が同和問題を十分正しく理解しているとはいえない状態です。

教育委員会としては、市の基本的な考え方を踏まえたいえで、積極的に同和教育を推進したいと思えます。真の自己変革につながるよう教育内容についても充実を図っていきます。

り、特定の行政分野だけに専念することができないので十分なものはなりません。

したがって、青少年問題協議会の開催回数を増やすなどして、現在の機構の中で一般的な取り組みを強化したいと思えます。

福岡市では市民局の中に青少年

# 埋立事業の推進を

## — 響灘D地区 —

**議員** 本市の未来は産業の発展に期待する以外になく、それには第一に近代工業を受け入れる土地が必要で

また、最近中国と我が国との間に総額約五兆円に及ぶ貿易取り決めができましたが、中国貿易の拠点として活用する意味からも、響灘埋立(若松北海岸)を積極的に推進するべきではありませんか。

**市長** 環境問題等から埋立許可

の健全育成及びスポーツの振興を図る部門を設置しているようですが、このような方式がよいのかどうかについても、今後研究したいと思っています。

# モノレール

**議員** モノレール小倉線は当初予定の五十二年度着工が遅れ、五十六年度開通が危ぶまれています。事業の進み具合について、お尋ねします。

**市長** 本市のような本格的なモノレール建設は、世界で最初のケースといっても過言ではなく、技術的にも難問題が出て来ます。

現在、車両構造の変更に伴う工事施行の許可申請の関係で、若干着工の時期がずれています。三月末には、設計変更に対する最終的結論が出される見通しです。

が非常に厳しくなっている現状です。響灘D地区の埋立にしても、運輸省と環境庁が協議中で、なかなか埋立許可がおりません。しかし、響灘開発は本市の産業都市としての生命線であると思えますので、免許がおりしだい積極的に埋立を推進していきます。

また、日中貿易が現実化してくれば、地理的にも歴史的にも、さらに最近の日中友好の実績から考へても、本市が日中貿易の中心になることを信じています。

**議員** 国の工業再配置計画によれば、響灘地区は瀬戸内海環境保全区域内にあり、鉄鋼や石油化学

この結果にもとづいて、現在申請をしている一・一キロ区間(志井車庫(志井)の工事の許可が出ると思えます。

したがって、当初の開業目標にずれが出ることも予想されますが、出来るだけ開業目標とあまり大きなずれがないように鋭意工事を進めていきます。

# 日銀跡地

**議員** 門司区にある日本銀行跡地の利用については、これまでにも地元住民から公共施設の設置を要望されてきました。

これについて、五十三年度予算で施設の基本設計料が計上されていますが、どのような構想の施設を考えているのですか。

**市長** 現在のところ、一階から三階までを公共施設とし、四階以上は、日本住宅公団の住宅にする

などの工場建設の規制が厳しくなっています。これは、都市の近代化を図ろうとする本市の方針に大きな影響を及ぼすばかりか、響灘埋立地の利用計画も事実上成り立たないのではと心配されます。

市はどのように取り組みますか。

**市長** 工業再配置計画においても、既存の工業地帯で止むを得ない事情があるものは、又は既に認可されているものは、一定の条件をつけて工場建設を認めています。



現在(現在)は駐車場となっている跡地

という構想をもっています。

つまり、一階は中央公民館の機能を、二階は地域公民館の機能をもたせる。三階は、会議や会食あるいは結婚式も行えるような施設にしたいと思えます。

また、同敷地内に、別棟で百台程度の駐車場を建設することも考えています。



非行防止の呼びかけ

### 予算特別委員会の審査から

五十三年度当初予算など新年度関係議案を審査するため予算特別委員会を設置し、三つの分科会に分け、七日間にわたって審査しました。以下はその主なものです。

#### 雇用問題連絡委員会

委員 長引く不況により、本市においても失業者が増加し重大な社会問題になっています。国や県の対策を待つだけではなく、市としても何らかの手を打つべきではありませんか。

当局 民生局を中心に企画局、経済局などで市役所内部の委員会を早急につくり、雇用問題に取り組みたいと思います。

また、公共職業安定所、商工会議所、労働団体などの代表に参加を求め、雇用問題に対する総合的な連絡調整の場を設けたいと思いますが、知事など関係者と相談し決定したいと思えます。

#### 市営住宅改善

委員 市営住宅の中には、まだ一間住宅がありますが、これを解消する考えはありませんか。

また、市営住宅の入居者で、家族が増えたり、子供の成長で広い住宅を望んでいる人もいます。考えをもちていますか。

当局 一間住宅の解消については今後とも検討したいと思えます。

家族構成が変り、狭くなって広い住宅を希望される方のためには住み替え制度があります。なお、狭小住宅解消のために増築方式の住戸改善事業も行っており、五十三年度は二団地で実施することにしています。

#### ブランコ廃止

委員 公園からブランコなどの遊具を廃止することですが、児童教育の専門家などの意見でも動く遊具は子供の平衡感覚、運動神経の発達にも良いとのこと。廃止せずに残すことはできませんか。

当局 市は現在の二倍に当る公園整備を計画しております。これから多数の公園にブランコなどの動く遊具を設置した場合、すべての公園を十分に管理できず危険なため、廃止していきます。

しかし、わんぱく広場などのように管理が十分できる公園には、動く遊具も設置します。今後は、子供達がその創造力を生かして自由に遊べるような公園が良いのではないかと思います。

#### 分庁舎建設

委員 分庁舎はどれくらい規模

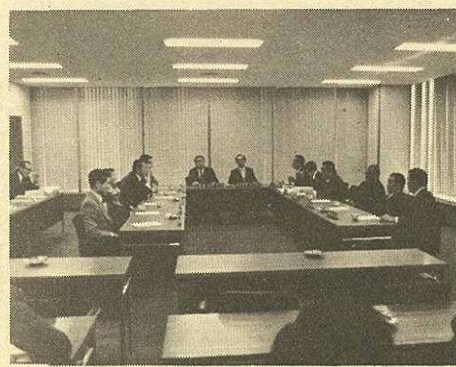
### 『課税特別委』調査終る

この委員会は、昨年九月定例会の決算審議の中で問題となった市内特定企業の埋立地や工場敷地内の建築物に対する課税の実態を明らかにすることを目的として、議事に認められている調査権を行使し、市の課税事務を調査するために、昨年十月四日に設置されました。

委員会は、本会議で決まった調査事項に基づいて、市当局から具体的な記録の提出や説明を求めるとともに、調査対象物件の視察を行うなどして、本年三月二十四日までに、十六回の委員会を開いて調査してきました。

調査の結果、一部の竣工認可前の埋立地で、工作物などが設置された土地に課税もれがあることが判明しました。また、工場敷地内の建築物につ

いては、全体で約六万一千平方メートルにわたる多数の課税もれがあることが市当局の調査で判明しました。



市当局からは、「課税調査が十分であったことが原因で、多数の課税もれがあったことは重大な

問題だと深く反省している。課税もれとなっていたものについては、さかのぼって課税するなどの措置をとります。今後は、再びこうしたことを起こさないよう、課税に関する事務処理要領の見直しを行って、税務体制の整備を図っていきます。」との決意が表明されました。

委員会としては、税務行政は、市政の中でも最も重要な部門であるにもかかわらず、こうした多数の課税もれなどが生じたことは、極めて遺憾であるとして、市当局に対し、今後の税務行政の執行にあたっては、委員会で論議された諸点について十分留意したうえで、課税に対する調査体制を充実、強化し、適正な課税に努め、市政執行に対する市民の信頼に応えるよう強く要望して、委員会の調査を終了し、三月二十七日の本会議で報告を行いました。

### 人事紹介

二月定例会で次のかたがたが決まりました。敬称略

#### 人権擁護委員候補者

麻生 暁海

#### 小倉北区選挙管理委員会

委員 大和 虎雄・西山 己喜次

砂田 司・若松 大麓

補充員 深水 亘・神崎 正

森永 恒治・白石 健一

#### 小倉南区選挙管理委員会

委員 木本 寿治・柿西 義三

#### 八幡東区選挙管理委員会

委員 原田 三郎・岩崎 政春

安部 寿・井上 興一

補充員 高原 章・池野 俊夫

佐野 正康・芳賀 晟寿

#### 八幡西区選挙管理委員会

委員 毛利 直敏・清水 静夫

平山 勇・山田 繁雄

補充員 小田 力・豊島 芳文

浜 勝・橋本 喬